

## 基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置									
フリガナ設置者	コリツダ'イダクホツシ' アキタケンリツダ'イダク 公立大学法人 秋田県立大学									
フリガナ大学の名称	アキタケンリツダイガクダイガクイン 秋田県立大学大学院 (Graduate School, Akita Prefectural University)									
大学本部の位置	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番438									
大学の目的	主体的で柔軟かつ総合的な問題解決能力、高度な専門知識と応用力を備えた起業精神、創造性・独創性豊かな優れた研究能力を備えた人材の養成を目的とする。									
新設学部等の目的	学部教育を基礎として専門知識と研究開発能力を育み、システム思考に更に高度で先端的な厚みと広がりを持たせることにより、グローバルに発展的な未来を切り開く高度専門職業人としての分野横断的な知識・能力及び高い倫理観と責任感を身に付けた人材を養成する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	基礎となる学部・学科	
	システム科学技術研究科博士前期課程 (system science and technology (master course)) 総合システム工学専攻 (Integrated Course of Systems Engineering and Technology)  計	年	人	年次人	人	修士 (工学) (Master of Engineering)	令和4年4月 第1年次	秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4	システム科学技術学部・機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科、経営システム工学科	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		システム科学技術研究科 機械知能システム学専攻 (廃止) (△17) 電子情報システム学専攻 (廃止) (△17) 建築環境システム学専攻 (廃止) (△6) 経営システム工学専攻 (廃止) (△5) 共同ライフサイクルデザイン工学専攻 (廃止) (△5)  ※令和4年4月学生募集停止								
教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	総合システム工学専攻		講義	演習	実験・実習	計	30単位			
学部等の名称		専任教員等					兼任教員等			
教員	新設	システム科学技術研究科〔博士前期課程〕 総合システム工学専攻		25人 (25)	27人 (27)	一人 (-)	一人 (-)	52人 (52)	一人 (-)	23人 (23)
		共同サステナブル工学専攻		3 (3)	4 (4)	一人 (-)	一人 (-)	7 (7)	一人 (-)	29 (29)
組織	既設	システム科学技術研究科〔博士後期課程〕 総合システム工学専攻		28 (28)	31 (31)	一人 (-)	一人 (-)	59 (59)	一人 (-)	7 (7)
		生物資源科学研究科〔博士前期課程〕 生物資源科学専攻		31 (31)	48 (48)	一人 (-)	7 (7)	79 (79)	一人 (-)	17 (17)
概要	既設	生物資源科学研究科〔博士後期課程〕 生物資源科学専攻		27 (27)	26 (26)	一人 (-)	一人 (-)	53 (53)	一人 (-)	2 (2)
		総合科学教育研究センター		1 (1)	4 (4)	一人 (-)	2 (2)	7 (7)	一人 (-)	一人 (-)
計		87 (87)	109 (109)	一人 (-)	2 (2)	198 (198)	一人 (-)	一人 (-)		
合計		115 (115)	140 (140)	一人 (-)	9 (9)	257 (257)	一人 (-)	一人 (-)		

令和3年4月届出済み (予定)

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		73 人 (73)	143 人 (143)	216 人 (216)					
	技 術 職 員		7 (7)	0 (0)	7 (7)					
	図 書 館 専 門 職 員		2 (2)	0 (0)	2 (2)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	31 (31)	31 (31)					
計		82 (82)	174 (174)	256 (256)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	372,064 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	372,064 m <sup>2</sup>					
	運 動 場 用 地	300,119 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	300,119 m <sup>2</sup>					
	小 計	672,183 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	672,183 m <sup>2</sup>					
	そ の 他	2,146,572 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,146,572 m <sup>2</sup>					
合 計		2,818,755 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,818,755 m <sup>2</sup>					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
		92,279 m <sup>2</sup> ( 92,279 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	92,279 m <sup>2</sup> ( 92,279 m <sup>2</sup> )					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	32 室	17 室	224 室	9 室 (補助職員 2人)	2 室 (補助職員 2人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		システム科学技術研究科総合システム工学専攻		52 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での算出不能なため、学部との合計。		
	システム科学技術研究科総合システム工学専攻	129,000 [31,000] (129,000 [31,100])	4,000 [3,110] (4,000 [3,110])	2,650 [2,640] (2,650 [2,640])	2,270 (2,270)	1,900 (1,900)	- ( - )			
	計	129,000 [31,000] (129,000 [31,100])	4,000 [3,110] (4,000 [3,110])	2,650 [2,640] (2,650 [2,640])	2,270 (2,270)	1,900 (1,900)	( )			
図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		4,879 m <sup>2</sup>		576	309,917					
体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		4,199 m <sup>2</sup>		トレーニングルーム	314 m <sup>2</sup> ( 2室 )					
				テニスコート	10 面					
				野 球 場	1 (両翼100m)					
				陸 上 競 技 場	2 ( 400m/周 )					
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	研究科単位での算出不能なため、学部との合計。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等		997千円	972千円	-	-	-	-	
		共 同 研 究 費 等		178,315円	178,315円	-	-	-	-	
		図 書 購 入 費	22,500千円	22,500千円	22,500千円	-	-	-	-	
	設 備 購 入 費	0千円	0千円	0千円	-	-	-	-		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次			図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
	818千円	536千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円				
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要			運 営 交 付 金 ( 秋 田 県 ) 、 受 託 研 究 事 業 収 入 等							

既設大学等	大学の名称	秋田県立大学							平成30年度より学生募集停止 "	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		所在地
		年	人	年次	人		倍			
	システム科学技術学部									秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84番4
	機械工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.05	平成30年度		
	知能メカトロニクス学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成30年度		
	情報工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.11	平成30年度		
	建築環境システム学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.00	平成11年度		
	経営システム工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.08	平成11年度		
	機械知能システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成11年度		
電子情報システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成11年度			
生物資源科学部								秋田県秋田市下新城 中野字街道端西241番438		
応用生物科学科	4	40	—	160	学士(生物資源科学)	1.06	平成11年度			
生物生産科学科	4	40	—	160	学士(生物資源科学)	1.08	平成11年度			
生物環境科学科	4	30	—	120	学士(生物資源科学)	1.13	平成11年度			
アグリビジネス学科	4	40	—	160	学士(農学)	1.06	平成18年度	秋田県南秋田郡大潟村字南2丁目2番地		
大学の名称	秋田県立大学大学院							令和4年度より学生募集停止 " " " "		
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
システム科学技術研究科(博士前期課程)									秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84番4	
機械知能システム学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成14年度			
電子情報システム学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成14年度			
建築環境システム学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成14年度			
経営システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成14年度			
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	—	平成24年度			
(博士後期課程)総合システム科学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	0.58	平成14年度			
生物資源科学研究科(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(生物資源科学)	0.73	平成23年度	秋田県秋田市下新城 中野字街道端西241番438		
生物資源科学専攻(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(生物資源科学)	0.73	平成23年度			
附属施設の概要	名称：木材高度加工研究所 目的：秋田県の木材産業を資源依存型から技術立地型に転換するための基盤の確立 所在地：秋田県能代市字海詠坂11番1 設置年月：平成11年4月 規模等：土地：63,533㎡、建物：8,110㎡									
(注)										
1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。 3 私立の大学又は高等専門学校の場合、収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。 4 大学の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。										

公立大学法人秋田県立大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和3年度	入学定員		令和4年度	入学定員	変更の事由
秋田県立大学			秋田県立大学		
システム科学技術学部			システム科学技術学部		
機械工学科	60		機械工学科	60	
知能メカトロニクス学科	60		知能メカトロニクス学科	60	
情報工学科	40		情報工学科	40	
建築環境システム学科	40		建築環境システム学科	40	
経営システム工学科	40		経営システム工学科	40	
機械知能システム学科	—	→	機械知能システム学科	—	
電子情報システム学科	—		電子情報システム学科	—	
生物資源科学部			生物資源科学部		
応用生物科学科	40		応用生物科学科	40	
生物生産科学科	40		生物生産科学科	40	
生物環境科学科	30	→	生物環境科学科	30	
アグリビジネス学科	40		アグリビジネス学科	40	
計	390		計	390	
秋田県立大学大学院			秋田県立大学大学院		
システム科学技術研究科			システム科学技術研究科		
機械知能システム学専攻(M)	17		機械知能システム学専攻(M)	0	令和4年度学生募集停止
電子情報システム学専攻(M)	17		電子情報システム学専攻(M)	0	"
建築環境システム学専攻(M)	6	→	建築環境システム学専攻(M)	0	"
経営システム工学専攻(M)	5		経営システム工学専攻(M)	0	"
共同ライフサイクルデザイン工学専攻(M)	5		共同ライフサイクルデザイン工学専攻(M)	0	"
総合システム科学専攻(D)	8		総合システム工学専攻(M)	42	令和4年度設置
			共同サステナブル工学専攻(M)	8	"
			総合システム科学専攻(D)	8	
生物資源科学研究科			生物資源科学研究科		
生物資源科学専攻(M)	28		生物資源科学専攻(M)	28	
生物資源科学専攻(D)	5	→	生物資源科学専攻(D)	5	
計	91		計	91	

別記様式第2号(その2の1)

教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術研究科博士前期課程 総合システム工学専攻)【新設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎・学際科目	プレゼンテーション	1後		2					1	1					兼1 オムニバス
	実践英語A	1前		2											兼1
	英語プレゼンテーションA	1後		2											兼1
	風土・文化構造論	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	科学技術と倫理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	感性情報と環境の心理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	地域社会と家族	1・2後		2											兼1 隔年開講科目
	生体情報と運動の生理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	知的所有権論A	1前		2					3	1					オムニバス
	標準化論A	1後		2					2						兼2 オムニバス
	信頼性工学A	1前		2					4						オムニバス
	工学的失敗論A	1後		2					3						オムニバス
	インターンシップ	1・2通			2				1						オムニバス
	現役社長の講話	1後		1						1					
リスク管理エンジニアリング	1前		2					1							
小計(15科目)	-			27	2				15	3					兼10
コース共通	総合システム工学専門セミナー	1通	4						25	27					
	総合システム工学特別研究	1・2通	8						25	27					
	地域志向プロジェクト	1前		2					2						共同
	輸送機械特論	1前		2					1	1					オムニバス
	輸送機械特別研修I	1通			1				1						
	輸送機械特別研修II	1通			1				1						
	木質資源循環論	1前		2											兼3 オムニバス
	スマート農業	1前		2					2	4					兼6 オムニバス、共同(一部)
	データ駆動型社会論	1前		2					1	1					オムニバス
	再生可能エネルギー特論	1前		2					1	1					共同
専門科目	固体力学	1前		2					1						兼1
	ナノ材料学	1前		2						1					
	機械力学特論	1後		2						1					
	先端材料強度特論	1後		2					1						
	熱工学特論	1前		2					1						
	計算力学特論	1前		2					1						
	流体力学特論	1前		2					1						
	燃烧工学	1後		2					1						
	三次元CAD運用論	1前		2						1					
	機械構成論	1前		2						1					
	高度数値シミュレーション学	1前		2					4	2					兼1 オムニバス
	プラズマ工学	1後		2											兼1
	人間機械系設計論	1後		2					1						
エネルギーシステム学特論	1後		2						1						
先端加工学	1後		2					1							
知能メカトロニクスコース	プラズマ物理学	1前		2					1	1					
	システム制御工学特論	1前		2					1						
	計測学特論	1前		2						1					
	数理最適化特論	1前		2						1					
	通信システム特論	1後		2						1					兼1
	エネルギー変換工学特論	1後		2						1					
	光機能デバイス工学	1前		2					1						
	固体物性工学特論	1前		2						1					
	半導体材料・プロセス工学	1後		2					1						
	電子デバイス工学特論	1後		2						1					
	ロボット工学特論	1前		2											兼1
	制御工学特論	1前		2						1					
	メカトロニクス特論	1後		2					1						
バイオエンジニアリング特論	1後		2						1						
機械知能学特論	1後		2					1							

**教 育 課 程 等 の 概 要**

(システム科学技術研究科博士前期課程 総合システム工学専攻)【新設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報工学コース	画像情報学特論	1前		2						1					
	情報数理論	1前		2						1					
	自然言語処理	1前		2						1					
	情報ネットワーク特論	1後		2						1					
	数値解析学特論	1後		2						1					
	デジタル信号処理特論	1後		2						1					
	音響情報工学	1前		2						1					
	音信号処理特論	1後		2						1					
	パターン認識特論	1後		2						1					
	統計的信号処理	1前		2						1					
建築学コース	建築塑性論	1前		2						1					
	建築構造解析論	1前		2						1					
	建築荷重論	1前		2						1					
	建築構造設計論	1後		2						1					
	建築基礎構造論	1後		2						1					
	建築振動論	1後		2						1					
	建築材料工学	1前		2						1	1				オムニバス、共同(一部)
	木質構造設計実習	1前		2						3					共同、集中
	木質構造設計論	1後		2						3					オムニバス
	木質構造実習	1前		2						1	1				共同、集中
	視環境・色彩計画学	1前		2						1	1				オムニバス
	建築設備設計論	1前		2						2					オムニバス
	建築環境設計論	1後		2						1	1				兼1 オムニバス
	都市環境論	1後		2						1					兼1 オムニバス
	都市計画学	1前		2						1					
	都市防災学	1前		2							1				兼1 オムニバス
	都市・建築設計論	1後		2							1				
	都市・建築史論	1前		2						1					兼1 オムニバス
	都市・建築設計(演習)A	1前~2後		2						3	1				オムニバス、共同(一部)
	都市・建築設計(演習)B	1後~2後		2						3	1				オムニバス、共同(一部)
都市・建築設計(演習)C	2前・2後		2						3	1				オムニバス、共同(一部)	
建築インターンシップ研修A	1・2通			2						1					
建築インターンシップ研修B	1・2通			2						1					
建築インターンシップ研修C	1・2通			2						1					
建築インターンシップ研修D	1・2通			2						1					
建築インターンシップ研修E	1・2通			2						1					
建築インターンシップ研修F	1・2通			2						1					
建築インターンシップ研修G	1・2通			2						1					
建築プロジェクト実習	1・2通			2						1					
経営システム工学コース	会計システム論	1後		2						1					
	応用情報処理特論	1後		2						1					
	経営情報システム特論	1前		2						1					
	応用確率統計特論	1前		2						1					
	経営数理解析特論	1前		2						1					
	実践経営工学	1前		2						1					集中
	経営経済学	1後		2						1					
	システム構築論	1前		2			○			1					
	環境型生産管理論	1後		2						1					
	環境リスク管理技術特論	1前		2						1					兼1
	ライフサイクルデザイン製品技術論	1後		2						1					
	ライフサイクルアセスメント	1前		2				○							兼1
	分析化学特論	1前		2						1					
	地域産業活性演習	1後		2						1					集中
小計(93科目)	-		12	164	16					25	27				兼16

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術研究科博士前期課程 総合システム工学専攻)【新設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
合計(108科目)		-	12	191	18				25	27				兼23
学位又は称号		修士(工学)	学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法		開設大学	開設単位数(必修)		授業期間等									
共通基礎・学際科目から6単位以上、専門科目から必修12単位を含む24単位以上を修得し、うち10単位以上は所属するコースの専門選択科目から修得すること。また、2単位以上を所属コース以外の専門選択科目(コース共通、他コース選択、他専攻、他研究科含む)から修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。		秋田県立大学	221(12)		1学年の学期区分			2学期						
					1学期の授業期間			15週						
					1時限の授業時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要																
(システム科学技術研究科博士前期課程 機械知能システム学専攻)【既設分】																
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通 基礎・ 学際 科目	プレゼンテーション	1後		2					1					兼2	オムニバス	
	実践英語 A	1前		2										兼1		
	英語プレゼンテーション A	1後		2										兼1		
	風土・文化構造論	1・2前		2										兼1	隔年開講科目	
	科学技術と倫理	1・2前		2										兼1	隔年開講科目	
	感性情報と環境の心理	1・2前		2										兼1	隔年開講科目	
	地域社会と家族	1・2後		2										兼1	隔年開講科目	
	生体情報と運動の生理	1・2前		2										兼1	隔年開講科目	
	フィールドワーク A (実践科目)	1前～2後		2					1							
	フィールドワーク B (実践科目)	1後～2後		2		2			1							
	知的所有権論 A	1前		2					2						兼3	オムニバス
	標準化論 A	1後		2					1						兼3	オムニバス
	信頼性工学 A	1前		2					1						兼3	オムニバス
	失敗工学 A	1後		2					1						兼2	オムニバス
インターンシップ	1前			2										兼1		
小計(15科目)	-		28	2				5						兼21		
専 門 科 目	固体力学	1前		2					1							
	先端材料学特論	1前		2					1							
	機械構成論	1前		2						1						
	超精密加工学	1後		2					1							
	先端材料強度特論	1後		2					1							
	弾性波動論	1後		2						1						
	熱工学特論	1前		2					1							
	流体力学特論	1前		2					1							
	プラズマ工学	1後		2											兼1	
	計算力学特論	1前		2					1							
	エネルギーシステム学特論	1後		2						1						
	燃焼工学	1後		2					1							
	制御工学特論	1前		2						1						
	ロボット工学特論	1前		2					1							
	機械知能学特論	1後		2						1						
	三次元CAD運用論	1前		2						1						
	知能化機械設計論	1後		2					1							
コンピュータビジョン特論	1後		2					1								
バイオエンジニアリング特論	1後		2						1							
メカトロニクス特論	1後		2					1								
高度数値シミュレーション学	1前		2					3	2					兼1	オムニバス	
機械知能システム学専門セミナー	1通	4						10	9							
機械知能システム学特別研究	1・2通	6						10	9							
小計(23科目)	-	10	42					10	9					兼2		
合計(38科目)	-	10	70	2				10	9					兼23		
学位又は称号	修士(工学)	学位又は学科の分野			工学関係											
卒業要件及び履修方法		開設大学	開設単位数(必修)			授業期間等										
共通基礎・学際科目から8単位以上、専門科目から必修10単位含む22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。		秋田県立大学	82(10)			1学年の学期区分		2学期								
						1学期の授業期間		15週								
						1時限の授業時間		90分								



**教 育 課 程 等 の 概 要**

(システム科学技術研究科博士前期課程 電子情報システム学専攻)【既設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎・学際科目	プレゼンテーション	1後		2					3						オムニバス
	実践英語 A	1前		2											兼1
	英語プレゼンテーション A	1後		2											兼1
	風土・文化構造論	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	科学技術と倫理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	感性情報と環境の心理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	地域社会と家族	1・2後		2											兼1 隔年開講科目
	生体情報と運動の生理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	フィールドワーク A (実践科目)	1前~2後		2					1						
	フィールドワーク B (実践科目)	1後~2後		2					1						
	知的所有権論 A	1前		2					4	1					オムニバス
	標準化論 A	1後		2					2	2					兼2 オムニバス
	信頼性工学 A	1前		2					4						オムニバス
	失敗工学 A	1後		2					3						オムニバス
インターンシップ	1前			2				1							
小計 ( 15 科目 )	-			28	2			5	3						兼9
専門科目	電磁理論特論	1前		2						1					兼1
	環境電磁工学	1前		2											
	通信システム特論	1後		2					1						
	数理最適化特論	1前		2											
	システム制御工学特論	1前		2					1						
	エネルギー変換工学特論	1後		2						1					
	計測学特論	1前		2						1					
	デジタル信号処理特論	1前		2					1						
	音響情報工学	1前		2						1					
	音信号処理特論	1後		2					1						
	画像情報学特論	1前		2						1					
	パターン認識学特論	1後		2						1					
	数値解析学特論	1後		2						1					
	情報ネットワーク特論	1後		2						1					
	情報数理論	1前		2						1					
	自然言語処理	1前		2					1						
固体物性工学特論	1前		2						1						
半導体材料・プロセス工学	1後		2					1							
光機能デバイス工学	1前		2					1							
電子デバイス工学特論	1後		2						1						
電子情報システム学専門セミナー	1通	4						8	12						
電子情報システム学特別研究	1・2通	6						8	12						
小計 ( 22 科目 )	-		10	40				8	12						兼1
合計 ( 37 科目 )	-		10	68	2			8	12						兼10
学位又は称号	修士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法			開設大学	開設単位数 (必修)			授業期間等								
共通基礎・学際科目から8単位以上、専門科目から必修10単位含む22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。			秋田県立大学	82 (10)			1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

**教 育 課 程 等 の 概 要**

(システム科学技術研究科博士前期課程 建築環境システム学専攻)【既設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎・学際科目	プレゼンテーション	1後		2					2	1					オムニバス
	実践英語 A	1前		2											兼1
	英語プレゼンテーション A	1後		2											兼1
	風土・文化構造論	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	科学技術と倫理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	感性情報と環境の心理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	地域社会と家族	1・2後		2											兼1 隔年開講科目
	生体情報と運動の生理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	フィールドワーク A (実践科目)	1前~2後		2					1						
	フィールドワーク B (実践科目)	1後~2後		2					1						
	知的所有権論 A	1前		2					4	1					オムニバス
	標準化論 A	1後		2					2						兼2 オムニバス
	信頼性工学 A	1前		2					4						オムニバス
	失敗工学 A	1後		2					3						オムニバス
インターンシップ	1前			2				1							
小計 ( 15 科目 )	-			28	2			5	2						兼9
専門科目	地盤工学	1前		2						1					
	基礎設計論	1後		2						1					
	塑性設計論	1前		2					2						オムニバス
	大架構設計論	1後		2					2						オムニバス
	建築振動論	1後		2					2						オムニバス
	先端材料学	1前		2					1	1					オムニバス
	木質構造設計論	1後		2					1						兼2 オムニバス
	都市防災学	1前		2						1					兼1 オムニバス
	都市計画学	1前		2					1						オムニバス
	都市・建築設計論	1後		2					1	1					オムニバス
	視環境・色彩計画学	1前		2					1	1					オムニバス
	環境設計論	1後		2					1	1					兼1 オムニバス
	都市環境論	1後		2					1						兼1 オムニバス
	都市・建築史論	1前		2					1						兼1 オムニバス
	都市・建築設計 (演習) A	1前~2後		2					3						
	都市・建築設計 (演習) B	1後~2後		2					3						
	都市・建築設計 (演習) C	2前~2後		2					3						
	建築インターンシップ研修 A	1・2通		2					3						
	建築インターンシップ研修 B	1・2通		2					3						
建築プロジェクト実習	1後		2						1						
建築環境システム学専門セミナー	1通	4						6	4						
建築環境システム学特別研究	1・2通	6						6	4						
小計 ( 22 科目 )	-		10	40				6	4						兼3
合計 ( 37 科目 )	-		10	68	2			6	4						兼12
学位又は称号	修士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法	開設大学		開設単位数 (必修)				授業期間等								
共通基礎・学際科目から8単位以上、専門科目から必修10単位含む22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。	秋田県立大学		82 ( 10 )				1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術研究科博士前期課程 経営システム工学専攻)【既設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎・学際科目	プレゼンテーション	1後		2					2	1					オムニバス
	実践英語 A	1前		2											兼1
	英語プレゼンテーション A	1後		2											兼1
	風土・文化構造論	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	科学技術と倫理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	感性情報と環境の心理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	地域社会と家族	1・2後		2											兼1 隔年開講科目
	生体情報と運動の生理	1・2前		2											兼1 隔年開講科目
	フィールドワーク A (実践科目)	1前～2後		2					1						
	フィールドワーク B (実践科目)	1後～2後		2					1						
	知的所有権論 A	1前		2					4	1					オムニバス
	標準化論 A	1後		2					2	2					兼2 オムニバス
	信頼性工学 A	1前		2					4						オムニバス
	失敗工学 A	1後		2					3						オムニバス
	インターンシップ	1前			2				1						
小計 ( 15 科目 )	-		28	2				17	4					兼9	
専門科目	会計システム論	1後		2					1						
	応用情報処理特論	1後		2						1					
	経営情報システム特論	1前		2					1						
	応用確率統計特論	1前		2					1						
	経営数理解析特論	1前		2						1					
	経営学特論	1後		2					1						
	社会経済学特論	1後		2						1					
	環境型生産管理論	1後		2						1					
	環境リスク管理技術特論	1前		2											兼1
	ライフサイクルデザイン製品技術論	1後		2						1					
	分析化学特論	1前		2						1					
	現役社長の講話	1後		1						1					
	経営システム工学専門セミナー	1通	4						4	6					
経営システム工学特別研究	1・2通	6						4	6						
小計 ( 14 科目 )	-	10	23					4	6					兼1	
合計 ( 29 科目 )	-	10	51	2				4	6					兼10	
学位又は称号	修士 ( 工学 )		学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法			開設大学	開設単位数 ( 必修 )			授業期間等								
共通基礎・学際科目から8単位以上、専門科目から必修10単位含む22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。			秋田県立大学	63 ( 10 )			1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

## 教育課程等の概要(共同学科等)

(システム科学技術研究科博士前期課程 共同ライフサイクルデザイン工学専攻)【既設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教			
共通基礎・倫理関係科目	地域産業アントレプレナー論	1	秋田大学	1										兼4	オムニバス	
	プレゼンテーション技法	1	秋田大学	1										兼1		
	理工学英語	1	秋田大学	1										兼1		
	Talking about Science in English	1	秋田大学	1										兼1		
	Current Topics in Science and Engineering	1	秋田大学	1										兼1		
	インターンシップ	1・2通	秋田大学	1						3	5					企業等で実地研修
	インターンシップ	1・2通	秋田大学	2						3	5					企業等で実地研修
	科学技術者倫理特論	1	秋田大学	1											兼1	
	地震防災特論	1後	秋田大学	2											兼1	
	地域防災学特論	1前	秋田大学	2											兼1	
	自主プロジェクト	1通	秋田大学	1											兼1	
	自主プロジェクト	1通	秋田大学	2											兼1	
	マーケティングとブランディング	1	秋田大学	1											兼1	
	ベンチャー起業論	1休	秋田大学	1											兼1	集中
	地域資源と活性化	1	秋田大学	1											兼1	
	リスクマネジメント	1休	秋田大学	1											兼1	集中
	情報技術とイノベーション	1休	秋田大学	1											兼1	集中
	財務・金融工学	1休	秋田大学	1											兼5	オムニバス 集中
	知的財産論	1	秋田大学	1											兼1	
	経営戦略論	1休	秋田大学	1											兼1	集中
	消費者行動と心理	1休	秋田大学	1											兼1	集中
	特許情報活用論	1休	秋田大学	1											兼2	共同 集中
	理工学特論	1	秋田大学	1						3	5					
	理工学特論	1	秋田大学	1						3	5					
	理工学デザイン	1	秋田大学	1						3	5					
	新エネルギー利用論	1・2休	秋田大学	1						2	1				兼3	オムニバス 集中
	新エネルギー利用論	1・2休	秋田大学	1						2					兼4	オムニバス 集中
	資源リサイクル論	1・2休	秋田大学	1						1					兼3	オムニバス 集中
	プレゼンテーション	1後	秋田県立大学	2											兼3	オムニバス
	実践英語A	1前	秋田県立大学	2											兼1	
	英語プレゼンテーションA	1後	秋田県立大学	2											兼1	
	風土・文化構造論	1・2前	秋田県立大学	2											兼1	隔年開講科目
	科学技術と倫理	1・2前	秋田県立大学	2											兼1	隔年開講科目
	感性情報と環境の心理	1・2前	秋田県立大学	2											兼1	隔年開講科目
	地域社会と家族	1・2後	秋田県立大学	2											兼1	隔年開講科目
	生体情報と運動の生理	1・2前	秋田県立大学	2											兼1	隔年開講科目
	フィールドワークA(実践科目)	1・2通	秋田県立大学	2											兼1	
	フィールドワークB(実践科目)	1・2通	秋田県立大学	2											兼1	
	知的所有権論A	1前	秋田県立大学	2											兼5	オムニバス
	標準化論A	1後	秋田県立大学	2											兼2	オムニバス
	信頼性工学A	1前	秋田県立大学	2											兼4	オムニバス
	失敗工学A	1後	秋田県立大学	2											兼3	オムニバス
	インターンシップ	1前	秋田県立大学		2										兼1	
小計(43科目)	-	-		0	60	2		-			3	5	0	0	兼55:	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		
専門科目	ライフサイクルデザイン工学基礎	1前	秋田大学	2						1					
	地域エネルギー特論	1後	秋田大学		2									兼1	
	熱流体エネルギー移動・変換工学	1後	秋田大学		2									兼1	
	電磁エネルギー変換工学	1前	秋田大学		2					1					
	電子ディスプレイ工学	1	秋田大学		1					1					
	電子ディスプレイ工学	1	秋田大学		1					1					
	マイクロ加工工学特論	1	秋田大学		1						1				
	生体材料加工工学論	1	秋田大学		1						1				
	先端機能材料工学特論	1後	秋田大学		2						1				
	ソフトウェアシステム論	1前	秋田大学		2						1				
	地球環境分析科学	1後	秋田大学		2						1				
	高温物性学	1前	秋田大学		2						1				
	ライフサイクルデザイン工学特別講義	1	秋田大学		1									兼1	
	ライフサイクルデザイン工学特別講義	2	秋田大学		1									兼1	
	地域産業論	1後	秋田大学		2									兼1	
	電子デバイス工学	1後	秋田大学		2									兼1	
	通信工学特論	1	秋田大学		1									兼1	
	通信工学特論	1	秋田大学		1									兼1	
	電子制御機械工学特論	1	秋田大学		1									兼1	
	光・AI治療工学	1	秋田大学		1									兼1	
	岩盤工学特論	1後	秋田大学		2									兼1	
	資源経済学特論	1後	秋田大学		2									兼1	
	都市システム計画特論	1前	秋田大学		2									兼1	
	ライフサイクルデザイン工学セミナー	1通	秋田大学 秋田県立大学		2						3 1	5 4			
	ライフサイクルデザイン工学特別研究(修士論文)	1-2通	秋田大学 秋田県立大学		8						3 1	5 4			
	ライフサイクルプランニング基礎	1前	秋田県立大学		2							2			兼1 払ハス
	ライフサイクルアセスメント	1前	秋田県立大学			2						1			
	プラズマ工学	1後	秋田県立大学		2						1				
	環境電磁工学	1前	秋田県立大学		2							1			
	都市環境論	1後	秋田県立大学		2							1			兼1 払ハス
	ライフサイクルデザイン製品技術論	1後	秋田県立大学		2										兼1
	環境型生産管理論	1後	秋田県立大学		2										兼1
	音環境工学	1後	秋田県立大学		2										兼1
	環境・エネルギー工学	1前	秋田県立大学		2										兼1
小計(34科目)	-			14	50	0				4	9	0	0	兼16	
合計(77科目)		-		14	110	2				4	9	0	0	兼71	
学位又は称号	修士(工学)			学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法			開設大学	開設単位数(必修)			授業期間等								
必修科目14単位、選択科目16単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。 主指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻専門科目から4単位以上修得すること。副指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻科目から8単位以上修得すること。ただし、そのうち6単位以上は専門科目から修得すること。両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。			秋田県立大学	58(12)			1学年の学期区分		2学期						
			秋田大学	78(12)			1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術研究科博士前期課程 共同ライフサイクルデザイン工学専攻) 【既設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎・倫理関係科目	プレゼンテーション	1後		2										兼3	オムニバス
	実践英語A	1前		2										兼1	
	英語プレゼンテーションA	1後		2										兼1	
	風土・文化構造論	1・2前		2										兼1	隔年開講科目
	科学技術と倫理	1・2前		2										兼1	隔年開講科目
	感性情報と環境の心理	1・2前		2										兼1	隔年開講科目
	地域社会と家族	1・2後		2										兼1	隔年開講科目
	生体情報と運動の生理	1・2前		2										兼1	隔年開講科目
	フィールドワークA(実践科目)	1前~2後		2										兼1	
	フィールドワークB(実践科目)	1後~2後		2										兼1	
	知的所有権論A	1前		2										兼5	オムニバス
	標準化論A	1後		2					2					兼2	オムニバス
	信頼性工学A	1前		2										兼4	オムニバス
	失敗工学A	1後		2										兼3	オムニバス
	インターンシップ	1前			2									兼1	
小計(15科目)	-	0	28	2	-			0	2	0	0	0	兼24		
専門科目	ライフサイクルデザイン工学セミナー	1通	2					1	4						
	ライフサイクルデザイン工学特別研究(修士論文)	1・2通	8					1	4						
	ライフサイクルプランニング基礎	1前	2						2					兼2	オムニバス
	ライフサイクルアセスメント	1前		2					1						
	プラズマ工学	1後		2				1							
	環境電磁工学	1前		2					1						
	都市環境論	1後		2					1					兼1	オムニバス
	ライフサイクルデザイン製品技術論	1後		2										兼1	
	環境型生産管理論	1後		2										兼1	
	音環境工学	1後		2										兼1	
	環境・エネルギー工学	1前		2										兼1	
小計(11科目)	-	12	16	0	-			1	4	0	0	0	兼5		
合計(26科目)		-	12	44	2			1	4	0	0	0	兼27		
学位又は称号		修士(工学)			学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法			開設単位数(必修)			授業期間等									
必修科目14単位、選択科目16単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。 主指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻専門科目から4単位以上修得すること。副指導教員が在籍する大学院で開設する本専攻科目から8単位以上修得すること。ただし、そのうち6単位以上は専門科目から修得すること。両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。			58(12)			1学年の学期区分		2学期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							

教育課程等の概要

(システム科学技術学部機械工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文社会科学科目	文学・文化学A	1・2・3・4前		2											兼1	隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 オムニバス オムニバス 兼1 兼1 兼1 兼8 共同
	文学・文化学B	1・2・3・4後		2											兼1	
	文学・文化学C	1・2・3・4後		2											兼1	
	哲学・倫理学A	1後・3前・4後		2											兼1	
	哲学・倫理学B	2前・3後		2											兼1	
	哲学・倫理学C	1前・2後・4前		2											兼1	
	心理学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	心理学B	2・4後		2											兼1	
	心理学C	1・3後		2											兼1	
	社会学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	社会学B	1・2・3・4前		2											兼1	
	社会学C	1・2・3・4後		2											兼1	
	経済学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	総合科目A 人間と環境	2・3・4後		2											兼7	
	総合科目B 生活と情報	1・2・3・4前		2											兼7	
	日本国憲法	1・2・3・4前		2											兼1	
現代の働く環境	1・2・3・4後		2											兼1		
コミュニケーション入門	1・2・3・4前		2											兼1		
あきた地域学	1前		2					2	1					兼8		
小計(19科目)	-		2	36	0				2	1	0	0	0	兼21		
外国語科目	CALL (機械)	1前	2												兼1	
	CALL (機械)	1後	2												兼1	
	科学英語	1後		2											兼1	
	科学英語基礎(機械)	1後		2											兼1	
	教養英語 (機械)	2前		2											兼1	
	英語プレゼンテーション	2前		2											兼1	
	異文化コミュニケーション (機械・知能)	2前		2											兼1	
	実践英語 (機械・知能)	2前		2											兼1	
	教養英語	2後		2											兼1	
	英語プレゼンテーション	2後		2											兼1	
	異文化コミュニケーション (機械・知能)	2後		2											兼1	
	実践英語 (機械・知能)	2後		2											兼1	
	教養英語	3前		2											兼3	
	グローバルシナジーシップA	3前		2											兼1	
	グローバルシナジーシップB	3前		2											兼1	
	グローバルシナジーシップC	3前		2											兼1	
グローバルシナジーシップD	3前		2											兼1		
教養英語	3後		2											兼1		
小計(18科目)	-		4	32	0				0	0	0	0	0	兼8		
科目保健体育	体育実技	1前		1											兼1	
	体育実技	2前		1											兼1	
	保健体育	1・2後		2											兼1	
	小計(3科目)	-		0	4	0				0	0	0	0		兼2	
システム科学技術基幹科目	創造科学の基礎(機械)	1前	2						8	2					兼1	オムニバス
	科学技術史	1前	2						1						兼1	オムニバス
	環境科学	1後	2												兼2	オムニバス
	ベンチャービジネス論	2・3・4前		2											兼1	
	システム科学入門(機械・知能)	1前	2							1					兼4	オムニバス
	システム科学応用(機械)	1後		2					1							
	システム科学演習(機械)	2前		2					1	1		1				オムニバス・共同(一部)
	システム科学技術概論	2前		2					3	1					兼10	オムニバス
	あきた地域学アドバンス	2・3・4前		2											兼1	
	再生可能エネルギー入門	2後		2					1							

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術学部機械工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
科学システム基幹科	スマート農業入門	1・2・3・4前		2		○			1						兼8
	持続可能な社会と情報処理	1・2・3前		1		○			1						兼3
	小計(12科目)	-	8	15	0	-	-	-	8	2	0	0	0		兼21
共通基礎科目	情報リテラシー(機械・知能)	1前	2							1		1			兼2
	解析学 a (機械)	1前		2						1					オムニバス
	解析学 b	1後		2											兼1
	解析学 (機械)	1後	2							1					
	線形代数学(機械)	1前	2						1						
	確率・統計学(機械)	1前		2						1					
	工業数学(機械・経営)	2前	2						1						
	基礎物理学	1前			2						1				
	物理学 (機械)	1後	2						1						
	物理学 (機械)	1後		2					1						
	物理学実験(機械)	2前	2						1			5			共同
	化学	1前		2											兼1
	化学	1後		2											兼2
	生物学	2前		2											兼3
職業指導(工業)	2前			2										兼1	
小計(15科目)	-	12	14	4	-	-	-	4	3	0	6	0		兼8	
専門科目	機械工学実習	1後	2						1	1		4			オムニバス・共同(一部)
	設計製図	2後	2							1					講義
	設計製図	3前	2							1					講義
	機械工学実験	3前	2						1	1		6			オムニバス・共同(一部)
	機械工学プロジェクト	3後	2						9	6					共同
	材料力学 (機械)	2前	2						1						
	材料力学 (機械)	2後		2					1						
	材料力学	3前		2					1						
	熱力学	2前	2						1						
	熱力学	2後		2					1						
	伝熱工学	3前		2						1					
	流体力学	2後	2							1					
	流体力学	3前		2						1					
	機械力学	2後	2							1					
	機械力学	3前		2						1					
	機械材料学(機械)	1前		2					1						
	知能機械製作学	1後		2						1					
	加工工学	2後		2						1					
	知能材料学	2後		2					1						
	破壊力学	3前		2					1						
	計算力学	3前		2					1						
	数値シミュレーション法	2後		2						1					
	機械設計工学(機械)	2後		2					1						
	CAD/CAM	3後		2						1					
	制御工学	2後		2											兼1
	計測工学(機械)	3前		2											兼1
	機構学	3後		2					1						
	エネルギーシステム工学	3後		2					1	2					オムニバス
	輸送機械工学	3後		2					1	1					オムニバス
	生産システム工学	3後		2						1					
機械工学特別講義	3後		2					1							
プログラミング基礎	1後		2						1		1			オムニバス	
一般力学	2前		2						1						
物理学	2前		2					1							
数学および物理学演習	2前		2					4	1					オムニバス	
応用数学	2後		2					1							
応用数学	2後		2					1							



# 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術学部機械工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	応用数学演習	3前		1					2						オムニバス 共同 オムニバス オムニバス  兼1 集中 兼1 集中
	工学英語	3前	2					1			1				
	機械工学演習	3前	1					5	2						
	機械工学演習	3後	1					3	3						
	セミナー(機械)	4前	2					9	6		6				
	卒業研究	4通	8					9	6		6				
	インターシップA	2前			2									兼1 集中	
	インターシップB	3前			2									兼1 集中	
小計(45科目)		-	32	57	4			9	6	0	6	0	兼3		
教職に関する科目	教育原理	1前			2									兼1	兼1 集中 兼1 兼1 兼1 兼1 集中 兼1 集中 兼1 集中 兼1 兼1 集中 兼1 兼1 集中 兼1 集中 兼1 兼1 集中 兼1
	教師論	1前			2									兼1	
	教育制度論	1前			2									兼1	
	教育心理学	1前			2									兼1	
	特別支援教育論	3前			1									兼1	
	教育課程論	2前			1									兼1 集中	
	工業教育法	2前			2									兼1 集中	
	工業教育法	2後			2									兼1 集中	
	総合的な学習の時間の指導法	3前			1									兼1	
	特別活動の指導法	2前			1									兼1	
	教育方法論	1後			2									兼1 集中	
	生徒・進路指導論	2後			2									兼1	
	教育相談	2後			2									兼1 集中	
	教育実習	4通			2									兼1 集中	
	教育実習事前事後指導	3・4通			1									兼1 集中	
	教職実践演習(高)	4後			2									兼1	
小計(16科目)		-	0	0	25			0	0	0	0	0	0	兼7	
合計(127科目)		-	58	158	33			9	6	0	6	0	兼56		
学位又は称号	学士(工学)	学位又は学科の分野				工学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>卒業単位は124単位以上とする。</p> <p>・人文社会科学科目は、必修2単位及び選択8単位以上の合計10単位以上を修得。</p> <p>・外国語科目は、英語を必修4単位の他に選択科目(1)、(2)、(3)及び(4)それぞれ2単位以上の合計12単位以上を修得。教養英語 は選択(1)、(2)、(3)及び(4)のいずれか一つに充てることができる。</p> <p>・保健体育科目は、2単位以上を修得。</p> <p>・システム科学技術基幹科目は、必修8単位を含む14単位以上を修得。</p> <p>・共通基礎科目は、必修12単位、選択必修2単位(解析学 a、解析学 bのいずれか1科目)を含む18単位以上(自由科目を除く)を修得。</p> <p>・専門科目は、必修科目32単位及び選択必修科目4単位を含む68単位以上(自由科目を除く)を修得。</p> <p>・専門科目の選択必修科目のうち、応用数学、応用数学 から2単位以上を修得。</p> <p>・専門科目の選択必修科目のうち、エネルギーシステム工学、輸送機械工学、生産システム工学から2単位以上を修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p>						1学年の学期区分		2期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							

教育課程等の概要														
(システム科学技術学部知能メカトロニクス学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文社会科学科目	文学・文化学A	1・2・3・4前		2										兼1
	文学・文化学B	1・2・3・4後		2										兼1
	文学・文化学C	1・2・3・4後		2										兼1
	哲学・倫理学A	1前・2後・4前		2										兼1 隔年開講
	哲学・倫理学B	1後・3前・4後		2										兼1 隔年開講
	哲学・倫理学C	2前・3後		2										兼1 隔年開講
	心理学A	1・2・3・4前		2										兼1
	心理学B	1・3後		2										兼1 隔年開講
	心理学C	1・2・3・4後		2										兼1 隔年開講
	社会学A	1・2・3・4前		2										兼1
	社会学B	1・2・3・4前		2										兼1
	社会学C	1・2・3・4後		2										兼1
	経済学A	1・2・3・4前		2										兼1
	総合科目A 人間と環境	2・3・4前		2										兼7 オムニバス
	総合科目B 生活と情報	2・3・4後		2										兼7 オムニバス
	日本国憲法	1・2・3・4前		2										兼1
	現代の働く環境	1・2・3・4後		2										兼1
	コミュニケーション入門	1・2・3・4前		2										兼1
	あきた地域学	1前	2									1		1
小計(19科目)	-	2	36	0					0	1	0	1	0	兼22
外国語科目	必修													
	CALL(知能)	1前	2											兼1
	CALL(知能)	1後	2											兼1
	(1)													
	科学英語	1後	2											兼1
	科学英語基礎(知能)	1後	2											兼1
	(2)													
	教養英語(知能)	2前	2											兼1
	英語プレゼンテーション	2前	2											兼1
	異文化コミュニケーション(機械・知能)	2前	2											兼1
	実践英語(機械・知能)	2前	2											兼1
	(3)													
	教養英語	2後	2											兼1
	英語プレゼンテーション	2後	2											兼1
	異文化コミュニケーション(機械・知能)	2後	2											兼1
	実践英語(機械・知能)	2後	2											兼1
	(4)													
	教養英語	3前	2											兼3
グローバルシチズンシップA	3前	2											兼1	
グローバルシチズンシップB	3前	2											兼1	
グローバルシチズンシップC	3前	2											兼1	
グローバルシチズンシップD	3前	2											兼1	
(5)														
教養英語	3後	2											兼1	
小計(18科目)	-	4	32	0					0	0	0	0	0	兼8
科目保健体育	体育実技	1前		1										兼1
	体育実技	2前		1										兼1
	保健体育	1・2後		2										兼1
	小計(3科目)	-	0	4	0					0	0	0	0	0
幹システム科学技術基	創造科学の基礎(知能)	1前	2						4	8				兼1 オムニバス・共同(一部)
	科学技術史	1前	2											兼2 オムニバス
	環境科学	1後	2											兼2 オムニバス
	ベンチャービジネス論	2・3・4前	2											兼1
	システム科学入門(機械・知能)	1前	2											兼4 オムニバス
	システム科学応用(知能)	1後	2						3	3				オムニバス
	システム科学演習(知能)	2後	2						1					

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術学部知能メカトロニクス学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
システム科学技術基幹	システム科学技術概論	2前		2					1	2					兼11	オムニバス
	あきた地域学アドバンス	2・3・4前		2											兼1	
	再生可能エネルギー入門	2後		2											兼1	
	スマート農業入門	1・2・3・4前		2					1	1					兼6	
	持続可能な社会と情報処理	1・2・3前		1						1					兼3	
	小計(12科目)	-	8	14	0				3	6	3	0	0	兼22		
共通基礎科目	情報リテラシー(機械・知能)	1前	2									2			兼2	オムニバス
	解析学 a (知能)	1前		2						1						
	解析学 b	1後		2											兼1	
	解析学 (知能)	1後	2							1						
	線形代数学(知能)	1前	2							1						
	確率・統計学(知能)	1後		2					1							
	工業数学(知能)	2前		2					1							
	物理学 (知能・情報)	1後	2							1						
	物理学 (知能・情報)	2後		2						1						
	物理学実験(知能)	2前	2						1	1		4			共同	
	化学	1前		2											兼1	
	化学	1後		2											兼2	
	生物学	2前		2											兼3	
	職業指導(工業)	2前			2										兼1	
	小計(14科目)	-	10	16	2				2	6	1	3	0	兼9		
専門科目	知能メカトロニクス通論	1後	2							2		4			共同	オムニバス
	知能メカトロニクス通論	2前	3						1	4		1			共同	
	知能メカトロニクス通論	2後	3						4	2		4			共同	
	知能メカトロニクス通論	3前	2							2					共同	
	電気回路学 (知能)	1前	2							1						
	電気回路学	2前	2							1						
	論理回路学(知能)	2前		2						1						
	電子回路学(知能・情報)	2後	2							1						
	電磁気学	2後		2					1							
	電子物性	2後		2					1							
	電気電子材料	3前		2						1						
	機械材料学(知能)	1後		2											兼1	
	機械要素学	2前	2						1							
	材料力学 (知能)	2前	2						1							
	材料力学 (知能)	2後		2					1							
	機械力学	2後		2						1						
	機械設計工学(知能)	3前	2						1							
	設計製図	3前	2							2		2			講義	
	センサ工学	1後	2							1						
	応用数学	2後		2						1						
	制御工学 (知能)	2後	2						1							
	制御工学 (知能)	3前		2						1						
	プログラミング言語	2前	2												兼1	
	プログラミング言語	2後	2												兼1	
	知能メカトロニクス概論	3前	2							1					演習	
	デジタル信号処理(知能)	3前		2											兼1	
	計測工学(知能)	3前		2					1							
波動伝送工学(知能)	3前		2						1		1					
応用解析力学	3前		2						1							
最適化手法	3後		2						1							
熱力学(知能)	3後		2						1							
流体工学	3後		2					1								

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術学部知能メカトロニクス学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	気体放電論	3後		2						1					兼1            兼2 オムニバス 兼3 オムニバス 兼2 オムニバス   兼1 集中 兼1 集中
	知能機械制御	2後		2						1					
	機械知能学	3後		2		○									
	ロボット工学	3前		2		○			1						
	電子デバイス工学	3後		2					1						
	応用センシング工学	3後		2						1					
	通信システム(知能)	3後		2						1					
	生産システム工学	3後		2											
	エネルギーシステム工学	3後		2											
	輸送機械工学	3後		2											
	課題研究	3後	2						6	8					
	セミナー	4前	2						6	8					
	卒業研究(知能)	4通	8						6	8					
	インターシップA	2前			2										
インターシップB	3前			2											
小計(47科目)		-	46	52	4	-			6	8	0	4	0	兼11	
教職に関する科目	教育原理	1前			2										兼1
	教師論	1前			2										兼1
	教育制度論	1前			2										兼1 集中
	教育心理学	1前			2										兼1
	特別支援教育論	3前			1										兼1
	教育課程論	2前			1										兼2 集中
	工業教育法	2前			2										兼1 集中
	工業教育法	2後			2										兼1 集中
	総合的な学習の時間の指導法	3前			1										兼1
	特別活動の指導法	2前			1										兼1
	教育方法論	1後			2										兼1 集中
	生徒・進路指導論	2後			2										兼1
	教育相談	2後			2										兼1 集中
	教育実習	4通			2										兼1 集中
	教育実習事前事後指導	3・4通			1										兼1 集中
	教職実践演習(高)	4後			2										兼1
小計(16科目)		-	0	0	25	-			0	0	0	0	0	兼7	
合計(128科目)		-	70	154	31	-			4	10	3	4	0	兼58	
学位又は称号		学士(工学)			学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>卒業単位は124単位以上とする。</p> <p>・人文社会科学科目は、必修2単位及び選択8単位以上の合計10単位以上を修得。</p> <p>・外国語科目は、英語を必修4単位の他に選択科目(1)、(2)、(3)及び(4)それぞれ2単位以上の合計12単位以上を修得。教養英語 は選択(1)、(2)、(3)及び(4)のいずれか一つに充てることができる。</p> <p>・保健体育科目は、2単位以上を修得。</p> <p>・システム科学技術基幹科目は、必修8単位を含む14単位以上を修得。</p> <p>・共通基礎科目は、必修10単位、選択必修2単位(解析学 a、解析学 bのいずれか1科目)を含む、18単位以上(自由科目を除く)を修得。</p> <p>・専門科目は、必修科目46単位及び選択必修科目2単位を含む68単位以上(自由科目を除く)を修得。</p> <p>・専門科目の選択必修科目のうち、エネルギーシステム工学、輸送機械工学、生産システム工学から2単位以上を修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：48単位(年間))</p>						1学年の学期区分			2期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						



# 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術学部情報工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科学技術科目	スマート農業入門	1・2・3・4前		2						1					兼7
	持続可能な社会と情報処理	1・2・3前		1					2						兼2
	小計(12科目)	-	8	14	0	-	-	4	5	0	1	0		兼22	
共通基礎科目	情報リテラシー(情報・建築・経営)	1前	2					1			1			兼1	オムニバス、共同(一部)  兼1  兼1 兼1 兼4 共同 兼2 オムニバス 兼3 オムニバス 兼1 集中
	解析学 a(情報)	1前		2					1						
	解析学 b	1後		2											
	解析学(情報)	1後	2						1						
	線形代数学(情報)	1前	2						1						
	確率・統計学(情報)	1後	2					1							
	工業数学(情報)	2前	2						1						
	物理学(知能・情報)	1後	2											兼1	
	物理学(知能・情報)	2後		2										兼1	
	物理学実験(情報・建築)	1後	2					1			4			兼4 共同	
	化学	1前		2										兼1	
	化学	1後		2										兼2	
	生物学	2前		2										兼3	
	職業指導(工業)	2前			2									兼1	
小計(14科目)	-	14	12	2	-	-	2	3	0	4	0		兼13		
専門科目	プログラミング(情報)	1後	3						1		1			共同 講義	
	プログラミング(情報)	2前	3						1		1			共同 講義	
	プログラミング(情報)	2後	3						1		1			共同 講義	
	システム創成プロジェクト実習	2後	2					1			3			共同	
	システム創成プロジェクト実習	3前	2					1	3		3			オムニバス、共同(一部)	
	デジタル信号処理(情報)	2後	2						1						
	音響工学(情報)	3前		2						1					
	画像信号処理(情報)	3前		2				1							
	音信号処理	3後		2				1							
	パターン認識と機械学習	3後		2				1							
	感性情報工学	3後		2						1					
	論理回路学(情報)	1後	2							1					
	システムアーキテクチャ	2前	2							1					
	情報システム学	3前		2						1					
	情報ネットワーク工学(情報)	3前		2					1						
	モバイルネットワーク工学	3後		2					1						
	電気回路学(情報)	1前	2											兼1	
	電気回路学	2前		2										兼1	
	電子回路学(知能・情報)	2後		2										兼1	
	電磁気学	2後		2										兼1	
	情報通信工学	3前		2										兼1	
	離散数学(情報)	2前	2							1					
	情報理論(情報)	2後	2							1					
	アルゴリズムとデータ構造(情報)	2後	2							1					
	数値解析	3前		2							1				
	人工知能	3前		2					1						
	データマイニング	3後		2					1						
	シミュレーション工学	3後		2						1					
	数理統計	1後		2										兼1	
	数理統計	2前		2										兼1	
	最適化手法	3後		2										兼1	
	情報社会と情報倫理	3前		2					1	1				オムニバス	
	情報と職業	3後		2					1					兼1	
	秋田の情報産業	3後		2					1					オムニバス	
技術英語	3前	1						1							
科学技術ライティング	3後	1				○		1							
情報工学セミナー	3後	2						4	5		5		共同		
卒業研究(情報)	4通	8						4	5		5				

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(システム科学技術学部情報工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	基礎セミナー	1前	1						4	5		5		兼1 兼1 兼1 兼1 兼9	共同 共同 共同 集中 集中	
	数学基礎演習A	1前			1					2		1				
	数学基礎演習B	1後			1					2		2				
	インターシップA	2前			2											
	インターシップB	3前			2											
	小計(43科目)	-	40	44	6				4	5	0	5	0	兼9		
教職に関する科目	教育原理	1前			2									兼1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼7	
	教師論	1前			2									兼1		
	教育制度論	1前			2									兼1		集中
	教育心理学	1前			2									兼1		
	特別支援教育論	3前			1									兼1		
	教育課程論	2前			1									兼2		集中
	情報教育法	2前			2									兼1		集中
	情報教育法	2後			2									兼1		集中
	総合的な学習の時間の指導法	3前			1									兼1		
	特別活動の指導法	2前			1									兼1		
	教育方法論	1後			2									兼1		集中
	生徒・進路指導論	2後			2									兼1		
	教育相談	2後			2									兼1		集中
	教育実習	4通			2									兼1		集中
	教育実習事前事後指導	3・4通			1									兼1		集中
教職実践演習(高)	4後			2									兼1			
	小計(16科目)	-	0	0	25				0	0	0	0	0	兼7		
合計(124科目)		-	68	142	33				4	5	0	5	0	兼68		
学位又は称号		学士(工学)			学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
卒業単位は124単位以上とする。 ・人文社会科学科目は、必修2単位及び選択8単位以上の合計10単位以上を修得。 ・外国語科目は、英語を必修4単位の他に選択科目(1)、(2)、(3)及び(4)それぞれ2単位以上の合計12単位以上を修得、教養英語は選択(1)、(2)、(3)及び(4)のいずれか一つに充てることができる。 ・保健体育科目は、2単位以上を修得。 ・システム科学技術基幹科目は必修8単位を修得。 ・共通基礎科目は、必修14単位、選択必修2単位(解析学 a、解析学 bのいずれか1科目)を修得。 ・専門科目は、必修40単位を含む68単位以上(自由科目を除く)修得。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))						1学年の学期区分		2期								
						1学期の授業期間		15週								
						1時限の授業時間		90分								

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要

(システム科学技術学部建築環境システム学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文社会科学科目	文学・文化学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	文学・文化学B	1・2・3・4後		2											兼1	
	文学・文化学C	1・2・3・4後		2											兼1	
	哲学・倫理学A	1前・2後・4前		2											兼1	隔年開講
	哲学・倫理学B	1後・3前・4後		2											兼1	隔年開講
	哲学・倫理学C	2前・3後		2											兼1	隔年開講
	心理学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	心理学B	1・3後		2											兼1	隔年開講
	心理学C	1・2・3・4後		2											兼1	隔年開講
	社会学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	社会学B	1・2・3・4前		2											兼1	
	社会学C	1・2・3・4後		2											兼1	
	経済学A	1・2・3・4前		2											兼1	
	総合科目A 人間と環境	2・3・4前		2											兼7	オムニバス
総合科目B 生活と情報	2・3・4後		2											兼7	オムニバス	
日本国憲法	1・2・3・4前		2											兼1		
現代の働く環境	1・2・3・4後		2											兼1		
コミュニケーション入門	1・2・3・4前		2											兼1		
あきた地域学	1前	2							1			1		兼9	共同	
小計(19科目)	-	2	36	0					1	0	0	1	0	兼22		
外国語科目	CALL (情報・建築A)	1前	2												兼1	
	CALL (建築B・経営)	1前	2												兼1	
	CALL (情報・建築A)	1後	2												兼1	
	CALL (建築B・経営)	1後	2												兼1	
	(1) 科学英語	1後		2											兼1	
	科学英語基礎(情報・建築A)	1後		2											兼1	
	科学英語基礎(建築B・経営)	1後		2											兼1	
	(2) 教養英語 (建築)	2前		2											兼1	
	英語プレゼンテーション	2前		2											兼1	
	異文化コミュニケーション (情報・建築・経営)	2前		2											兼1	
	実践英語 (情報・建築・経営)	2前		2											兼1	
	(3) 教養英語	2後		2											兼1	
	英語プレゼンテーション	2後		2											兼1	
	異文化コミュニケーション (情報・建築・経営)	2後		2											兼1	
	実践英語 (情報・建築・経営)	2後		2											兼1	
	(4) 教養英語	3前		2											兼3	
	グローバルシナシップA	3前		2											兼1	
	グローバルシナシップB	3前		2											兼1	
グローバルシナシップC	3前		2											兼1		
グローバルシナシップD	3前		2											兼1		
(5) 教養英語	3後		2											兼1		
小計(18科目)	-	8	34	0										兼8		
保健体育	体育実技 (情報・建築A)	1前		1											兼1	
	体育実技 (建築B・経営)	1前		1											兼1	
	体育実技 (情報・建築A)	2前		1											兼1	
	体育実技 (建築B・経営)	2前		1											兼1	
	保健体育	1・2後		2											兼1	
小計(3科目)	-	0	6	0					0	0	0	0	0	兼3		
術システム科学技	創造科学の基礎(建築)	1前	2						5	2					兼1	オムニバス
	科学技術史	1前	2												兼2	オムニバス
	環境科学	1後	2						1						兼1	オムニバス
	ベンチャービジネス初論	2・3・4前		2											兼1	
	システム科学入門(情報・建築・経営)	1前	2						2						兼4	オムニバス
システム科学応用(建築)	1後	2							1							





































































